

学年・実施時期

3 年

教科・科目

生物

単元

植生の遷移

発問する場面

種子の散布形式と遷移との関連を学習する場面において、植物は生存戦略としてどのような散布形式や方法が散布・増殖に有利になるかを考える。

思考を深める問い

「風散布型・動物散布型・重力散布型それぞれのメリットと、どうして遷移の進行に応じて変化するのか、考えてみよう。また、種子の形や果実が熟すタイミングについても、なぜそのようなに進化したのか、考えて話し合ってみよう。」

ねらい・効果

風散布型は遠くまで運ばれて分布を広げやすいという意見は出やすいが、動物散布型と重力散布型は色々な意見が出る。中でも風散布型は果実が発達しないが動物散布型は果実を種子ごと食べてもらい、糞とともに分布域を広めることを知らない生徒が多い。また、なぜ動物散布型の果実は熟すまでは酸っぱく、熟すと甘くなるのか考えさせることで、植物の散布戦略に気づくことができる。

生徒の反応（いずれかに○をつけ、追加で説明が必要があれば記入）

思考がよく深まった（ ○ ） 思考が少し深まった（     ） 深まらなかった（     ）

（追加説明）

酸っぱいものを甘く感じさせるミラクルフルーツは、植物の生存戦略上、どのような意味があるのか考えさせる。

添付資料等（図や写真、URLなど参考になるものがあれば添付）